

研究課題名	日本頭部外傷データベース プロジェクト2023
研究機関名	武蔵野赤十字病院、千葉県救急医療センター、東京医科歯科大学、国際医療福祉大学成田病院、日本医科大学附属病院、他全国 30 施設
研究責任者	所属 脳神経外科 氏名 荻島隆浩
研究期間	(西暦) 2023 年 4 月 ~ (西暦) 2026 年 5 月
研究の意義・目的	頭部外傷に関する疫学調査は1970年代後半より欧米にて開始され、これらの成果は患者の治療や家族への対応に大いに有益であり、これまでも大きな研究成果をあげています。日本でも、1994年に日本を代表するデータベースの設立が提唱され、その後プロジェクト1998からプロジェクト2015と4度の疫学研究が実施されています。本研究は5度目となる継続的な頭部外傷の疫学研究です。本研究の目的は、頭部外傷症例の、年齢・性別・受傷機転・診断・治療方法・患者転帰の疫学的検討を行い、日本の頭部外傷患者の現状や治療効果について明らかにすることです。日本における頭部外傷の現状を把握して、治療をより改善させるための患者さんに対して投薬や治療など介入を行わずに、観察によってデータを集めて解析を行います。研究期間は、2023年4月1日～2026年5月31日です。
研究の方法 (対象期間含む)	
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①当院に頭部外傷にて搬送となった患者さんの情報を、匿名化して利用いたします。具体的には、通常の救急診療で作成される搬送記録、診療記録から必要なデータを抽出して、データベースを作成します。 ②外傷の原因や、病院到着時の意識の状態、頭部CTの所見、手術の有無や投薬の有無など頭部外傷患者さんの受傷状況・治療に関する観察項目について使用します(観察項目は約480項目)。 ③提供いただいた医療データは厳重に管理保管され、本研究のみに使用されます。 ④資料・情報の管理については、当院においては研究責任者 荻島隆浩がその責任を有し、提供されたものについては主研究機関である 千葉県救急医療センター 宮田昭宏が責任を有します。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 荻島隆浩 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525